

校長室だより No 4

2017年7月7日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津健志

情報モラル教育を6年生で実施 情報モラルは大人も子供も

6月30日に、6年生全員を対象に情報モラル教育を実施しました。

授業は、担任の先生と一緒に柏市のIT支援教育アドバイザーの先生が行いました。

IT支援アドバイザーの全校巡回の授業は、1年生は初めてのコンピュータ。3年生は初めてのローマ字入力、4年生は初めてのプログラミング、5年生は初めてのプレゼンテーション、そして6年生の初めての情報モラル、中学校では2年生で情報モラルを行う計画になっています。

今回6年生の授業に入る前に、静岡大学と民間企業が共同開発をした、インターネットの利用状況把握アンケートに個別に回答してもらい、子供たちの実態を把握しながら実施をしました。

ネット上の書き込みで悪口を言ったり、知らない人とのやりとりをしたり、私たちが懸念するネット上のトラブルを経験している子供たちが複数いました。

1時間の授業でしたが、子供たちの行動変革を促すことができる授業だったと思います。

私は、授業の最後に子供たちに、次のような話をしました。

インターネットと火は同じようなものだと思います。人間が火を生活の中できちんと使い始めたのは約7000年ぐらい前からです。火を使う前と後とで何が違いますか？

夜でも明るくできる、食べ物を調理できる、寒い時に暖まることができる と口々に子供たちが・・・

火は毎日の生活の中で、欠かすことができない大切なものですね。

でも、800年ぐらい前に、火薬を発明して、火の使い方が広がりました。大きな石を爆破して土地を広げることができますが、人を殺すことにも使えるようになりました。今や人類が持っている核兵器で、地球を滅ぼすことができるとさえ言われています。

火は、生活に絶対に欠かせないものですが、使い方次第で、善にも悪にもなるのです。

インターネットは、今から約20年ぐらい前から自由に使えるようになり、インターネットが無い生活は考えられないくらいまで発展してきました。しかし、インターネットも使い方次第です。

ただ、火とは、使い方の進歩のスピードが違いすぎるのです。

火は、人間が常時使い始めてから6000年くらいした後に火薬に使う方法が出てきました。人間のスピードと機械のスピードは全く違います。インターネットは機械のスピードで進化しています。

将棋の藤井四段がニュースになっています。プロの将棋師は一生で3000局ぐらいの試合をして、その中で力を伸ばしていくそうです。しかし、人工知能の将棋ソフトは、将棋ソフト同士で既に900万回以上の対局をして、将棋の腕を進化させているようです。

インターネットも同じぐらい早いスピードで進化しています。ですから、正しい使い方と様々な用語も日々進化します。しっかりと知って、間違った使い方、人と人のつながりを断ち切るような使い方を絶対にしないようにしてください。と話しました。

6年生の授業の中で、食事中にはスマホを操作しない、ということが出てきました。最近、ファミレスの食事をする家族の様子に、食事しながら親がスマホをいじっている所を見かけます。

PTAが企画している「みんなの子育て広場」では、今年はNTTを招いての携帯教室が開催されるようです。ネットを正しく使うことは、大人、子供の区別なく、ネットの進化に合わせて学び続け、人にとってより良い使い方を追求していくことが大切です。

便利なものを自由に使う、しかしルールをしっかりと守れる。このような、コントロール＝自律する力は、家庭と学校の協力体制で育てていきたいと思います。